

令和4年度第2回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和4年9月27日（火） 13：30～14：55
会 場	茂原市役所 502 会議室
出席委員	中田会長、平井副会長、岡本委員、安田委員、柳瀬委員、篠田委員、 佐藤委員、佐野委員、澤田委員、木村委員、河野委員、萬谷委員、 田丸委員、荒谷委員
関係課	中村教育部長、佐久間教育部次長兼教育総務課長、伊藤学校教育課長、 宮内学校教育課主幹
事務局	渡邊福祉部長、平井福祉部次長兼社会福祉課長、根本子育て支援課長、 齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、花沢主査、高橋主事
傍聴者	0人
配布資料	
・資料 第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直し（案）	

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直しについて

会議要旨

(議事)

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直しについて
＜事務局から、資料に基づき説明（1 ページから 8 ページ）＞

(議長)

資料の 1 ページから 8 ページ目まで、御説明をいただきました。

数字がいっぱいあって、飲み込めないというような状況であるかもしれませんが、何か御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

はい、どうぞ。

(委員)

数字の中間見直しということで、今の人口に対してこれだけ確保しているから足りていますということについては、異論は全くないです。第2期計画において、平成30年に実施されたニーズ調査で、こういうのが欲しいという子育て世帯のアンケート結果が反映された上で計画が進んでいると理解しています。

見込量について、利用率は上がっていますが、実際としては空きがあるという話題がこれから出てくると思っています。定員を減らした教育や保育の場所とか人を活用して、他の子育てサービスへの転換を図る等といったことについて、実際に取り組まれていることや、今後考えられる事業があれば教えていただきたいと思います。

人口が減少しているので、見込量が減っていくのは当然だと思いますが、幼稚園、保育園の定員分の確保ができているということを考えると、その空きがあるところをどう使うかが議論になってくるかと思ひまして、冒頭の質問とさせていただきます。

(議長)

はい、わかりました。事務局、お願いいたします。

(事務局)

それぞれ見込量が減って、空きができるということは当然考えられることです。

昨年までは、定員に空きがあるときに預かる余裕活用型の一時預かりを朝日の森保育所で実施しておりました。更に今年度からは、空き教室を利用して、鶴枝保育所で一般型の一時預かり事業を始めております。

当初は、なかなか周知も行き届かなかったこともありましたが、今はお子さんの健診の際にチラシを配布しております。利用の際は事前登録が必要になりますが、今の登録者数は43人で、来月10月は既に予約がいっぱいというような状況になっております。

空き教室の活用について、こういった活用が一つ、考えられるというところでございます。

(議長)

はい。いかがでしょうか。

(委員)

とてもいいと思いました。

建物をどう使うかというのは、学校の空きのところでも話題になっていることだと思います。議論の主題ではないかもしれないですけども、少し状況を伺えればと思いました。ありがとうございました。

(議長)

この見直しの数字に対する意見ではないということですね。

はい、わかりました。

他に何かございますか。はい。どうぞ。よろしくお願いいたします。

(委員)

今、妊娠出産されたスタッフがいるのですが、8 月に出産だったので、保育所に受け入れがないということで、その方を半年以上育休にせざるを得なくとても大変です。昔は生まれて3 か月くらいから保育所で預かってくれていた記憶があるのですが、最近では11 月に受け付けする4 月入所に申し込まないと入れなく、それまで待ってくれという状況で、子育てに対して優しくないという感じがしました。

出産して保育所に預けたいという時に預けられるような、ゆとりのあるスタッフ数を確保する等という形はできないのでしょうか。そうするともうちょっと子どもが育てやすいから、子どもを産んでもいいかなという感じになると思います。

(議長)

はい、ありがとうございます。

事務局いかがでしょう。

(事務局)

今、お話があったとおり、生後3 か月後から預けられるというのは今も変わりはないのですが、年度の途中からの入所というところだと、どうしてもスタッフが足りないという現状です。

予め余裕を持っておくことや、途中で採用するというようなことも、当然頭に思い浮かびますが、実際問題のところ、年度途中で採用の募集をかけても、保育士から応募がないというような状況もございますので、難しいところであります。その分予め確保しておくことが可能なのかどうかについては、議論していく必要があると考えます。

今すぐに対応はできないのですが、子育てに優しいまちを目指していますので、その辺は何とかしていきたいという思いはあります。

(議長)

はい、優しそうではありましたけれども、いかがでしょうか。

(委員)

年度の中途の入所は全くできず、3 月くらいに生まれた子は、入所が翌年になってしまう。その辺が、例えば半年毎とかという募集のかけ方をすると、もうちょっと違ってくると思います。1 年に 1 回しか駄目というのは、お母さんたちが大変かなと思います。せめて半年に 1 回の募集をかけていただけると嬉しいです。

(議長)

はい、事務局どうぞ。

(事務局)

補足といたしまして、以前は公立保育所において出産前のお子さんについても予約というかたちで入所申込みを行っていましたが、現在は入所申込みの 11 月までに生まれているお子さんで、翌年の 9 月までに育児休業から復職される方を対象として、入所の予約を受け付けておりますので、一応、御報告させていただきます。

(議長)

わかりました。予約という方法があるにはあるのですね。
他に何かございますか。はい、どうぞ。

(委員)

今の話を伺って、確かにそうだと思いますが、確保はできてないのですか。
スタッフがいないと、空いているけれども預けられないというのは、これはあまり意味がないように思いました。これが実態ですか。
令和 4 年度の実績で、0 歳児が 12 人空いているという差異があっても、預けられないという仕組みになっているということですか。

(議長)

はい、ありがとうございます。

(事務局)

7 ページの 3 号認定 (0 歳児) の表について、令和 4 年度の実績が 55 人で 12 人空いているのではないかと御指摘だと思いますが、これはあくまで 4 月 1 日時点の数

字ですので、随時、数字は動いてしまいますので、年度途中で申し込む時点では空きがなかったという状況になります。

(議長)

はい、よろしいですか。

その他に何か御意見、御質問ございましたらお願いいたします。

それではないようでございますので、先に進ませていただきます。

<事務局から、資料に基づき説明（9 ページから 16 ページ）>

(議長)

はい。ありがとうございました。

見込み量と実績値の乖離のあった 13 事業のうち、4 事業について、見直しの御説明をいただいたところでございます。何か御質問、御意見、ありますでしょうか。

先般の審議会の中では、学童クラブに対する御意見が多々あったかと思えます。

その御意見を受けて、今、御説明の通り、新たな学童クラブの整備の説明がありました。これは、いつから整備されますか。

(事務局)

現在、東部小学校敷地内に、東茂原学童クラブに代わる施設として、40 人定員の施設の建設を行っております。今後の整備につきましては、まだ計画は決まっておりますが、人数の推移を見ながら決定して参りたいと考えております。

(議長)

東茂原学童クラブについては、既に稼働されているということですね。

(事務局)

東部小学校敷地内に建設中のものにつきましては、来年の令和 5 年 4 月 1 日から利用できるように建設しております。

(議長)

先般の御意見の中では、萩原小学校についてかなりニーズが高く、引っ越ししてでも利用したいという市民の皆さんも数多くいらっしゃるという御意見がかなり印象的に残っております。それも含めて、何か御質問、御意見ございますか。

はい、どうぞ。よろしくお願いします。

(委員)

よろしくお願いします。

私の主人が、学童クラブの支援員として携わっておりまして、それで学童クラブの話をよく聞きます。例えば、預からなくてはいけない子どもの数が多いということや、発達等に心配があってなかなか集団の中で過ごすのが大変な子もいるという話を聞いております。

それで今日、こういうように数字的に、大勢のお子さんがまだ待機が出ていると伺って、幼稚園でもそうなのですが、特別な支援が必要なお子さんは幼稚園にもおりまして、1年生になったから急にいろいろなことができるという訳でもないのだろうと想像しながらお話を聞いております。学童クラブを増やしていくのもいいと思いますが、学童クラブの先生や支援員等を必要な数の人がいるのかと思っております。

あともう一つは、幼稚園は保育時間が保育園よりは長くありませんのでお家に帰ってお母さんと過ごしている方が多いのですが、発達に心配のある子が結構、療育の放課後デイとか、特に小学校に上がった子が放課後デイの学童クラブを利用されていて、そこでとてもいい時間を過ごしているというのを聞いたりします。

放課後デイについては、お母さんから「こういうところに行っています」というのを聞くだけで、施設一覧表みたいなものを見たことがないのですが、市内にはたくさんできているようなことも伺っています。

市として、そういうことをどのぐらい把握されていて、施設ごとにどういう特徴があるとか、ご存知でいらっしゃるのか、今日、質問しようと思って参りました。

(議長)

はい。ありがとうございます。

御答弁よろしいですか。はい。お願いいたします。

(事務局)

放課後デイというのは承知をしておりますが、直接の所管でないので、すべてを把握はしてございませんが、市内には9ヶ所あると伺っております。

例えば、幼児健診等の関わりのタイミングで、そういうご心配があるといった方には、お話をさせていただいていくということはあるかと思えます。

おっしゃられたように、こういったところに通われて、すごくいい時間を過ごされているというのは、施設の方から聞いて把握はしております。

(議長)

はい。どうぞ。

(委員)

補足なのですが、確かに発達に特徴のあるお子さんは増えてきております。通常の学童クラブでも、支援員等の数からすると、健常児のお子さんを見ながら、発達に特徴のあるお子さんを見るのはすごく大変さがあるということで、子育て支援課の子育

て家庭相談室に相談が学童クラブから来ることがあります。

お子さんの発達の特徴について自宅にいる時と集団で過ごす時とで違いがあるので、保護者の方には、認識できていなかった部分等も理解していただいて、障害のサービスになります放課後デイサービスの方に移行できるように支援しています。

あと、「子どものひなた」というのができまして養育支援コーディネーターの先生がいらっしゃって相談に乗ってくださったり、親御さんにわかりやすくお子さんの発達の特性について説明したり、そのお子さんが安心して過ごせる場所として学童クラブよりは放課後デイサービスのほうが安心して過ごせるかもしれないというのを上手く説明して促しています。

放課後デイサービスがかなりできてはいるのですが、発達に特徴のあるお子さんも増えていまして、かなりいっぱいな状態になっています。就労されている保護者の場合は、ほぼ毎日、月曜日から金曜日まで預けたいというニーズがあるかと思うのですが、なかなか足りていない状況です。例えば、月曜日と水曜日は、A事業所に行って、火曜日と金曜日は、B事業所に行ってというようなケースがあって、発達に特徴があるお子さんなので本当はいろんなところに合わせるのには苦手なのですが、親御さんの都合もあるため、そういう形で渡り歩いてサービスを利用している場合もありますし、それもできなくて、親御さんがやむなく仕事をやめる場合もあります。

放課後デイサービスは終わった後に、御自宅にお子さんを送り届けるところまでやっているの、御自宅の送迎できる範囲等もありますから、たとえ空きがあったとしても、送迎ができない場合は、利用が出来ないという実情もあると思います。私の知っている限りの情報となります。

(議長)

はい、ありがとうございます。
よろしゅうございますか。

(委員)

はい、ありがとうございます。

(議長)

他に何か御質問、御意見ございますか。
はい。どうぞ。

(委員)

日頃より大変お世話になっております。
多様なニーズ、子どもの特性ということで、特別支援が必要なお子さんが大変多くなっています。

加えて、学童クラブについては、預けるお子さんが今後も多くなってくるということで、大変だと感じているわけですが、私の方で一番気になることは、職員のことで

す。家庭については、仕事がしやすい、子どもを産みやすい、これが茂原市のアピールしていきたいことだというのは十分わかります。

逆に言うと、これだけ人数が多くなって多様な子供たちがいる中で、学童クラブの職員の人数はどうなっているのかと思います。よく話を聞くと、学校にいる子どもも多様で対応が難しくなっていますが、学校と違った学童クラブの方はそれ以上に、外から見ていて大変だと感じています。それを任された職員の方たちが保護者と向き合

って話をするのも、また学校と違ってもっと厳しい気がしています。その点について、この支援員等を続けたいとかやりたいという人たちは増えているのでしょうか。それと、建物ができるということですが、職員の人数は確保できて

いるのでしょうか。そういう点のお話を聞かせていただければなと思います。

(議長)

はい、ありがとうございます。

増やせばいいというものではないという状況がよくわかりました。

事務局のご答弁をお願いいたします。

(事務局)

学童クラブは、大きく分けて、公設のものと、民設のものがございます。

公設のところが6ヶ所、民設のところが12ヶ所となっております。

公設のところについては、社会福祉協議会等にも委託をしているところでございます。民設は事業所や保護者会の方で運営していただいている現状でございます。

人数については、現在は足りているというところではありますが、どこも毎日同じ職員がいる状況というわけではなく、ローテーションを組んで実施しているかと思

います。本当に満ち足りているかというと、そうではなく、なかなか難しい中での運営をされているというところではないかと思

います。夏期学童については、学生さん等の一時的な夏休みのアルバイトということで、特に今年は結構な数が確保できたと聞いておりますが、実際、常時実施しているところについては、なかなか確保も難しくなっているというようなお話も伺っております。

ただ、どうしても仕事と家庭を両立して、子育てもしていくというような中では、学童クラブは必要なものでありますので、いろいろな関係するところと協議しながら、できるだけ無理のないように運営していただけるように、今後も努めていきたいと考えております。

(議長)

はい。現状は何とか足りているという状況ですね。
いかがでしょうか。

(委員)

職員の年齢的には、いかがでしょうか。

(事務局)

年齢はやはり、夕方から夜にかけての勤務となりますので、ある程度現職をリタイアされた方が多いというところです。

保護者会の方はまた年齢層が変わってくると思いますけれども、実際委託しているところについては、結構、年齢的には上の方が、多いかなというところです。

(委員)

多分健康管理とか、結構厳しい仕事だと思いますので、よろしくお願いいたします。

(議長)

はい。ありがとうございます。
他にいかがでしょうか。はい。どうぞ。

(委員)

よろしくお願いいたします。

職員確保についてお話が出ましたので、また公設と民設では大きく違うこともあるかと思いますが、私からは民設の方のお話をさせていただきたいと思います。

萩原学童クラブはずっと、人員不足でおりまして、今は優秀なスタッフがそろっているの少ない人数で、何とかぎりぎりまわしているところでございます。先ほど夏休みのお話も出ましたが、萩原学童クラブでは夏休みや1日休みの長期休みのときは、卒業生をアルバイトとして、採用させていただいております。

メリットとしては学童のルールがもう周知されているということで、特にこちらからあまり仕事の説明をせずとも、すぐに仕事に入ってくれるということが私自身本当に今年の夏を通して、非常に助かりました。実際には高校生が3名と、それから保育士を目指している大学生が2名、アルバイトに来てくれました。

ただ、お給料の面ですとか、けがや事故の補償について、萩原学童クラブでは単独で保険に入っておりまして、けがや事故、入院等あったときも、保険会社さんの方からお金が出るシステムを作っておりますが、よその学童クラブの状況を聞くとなかなかそこまで補助金の額等もあり、回らないというお話を多々受けております。萩原学童クラブでも毎年、支援員が転んでしまったり、子どもを避けて手首を捻挫したりという小さい事故はつきものですので、手厚い補償を、保護者会の方で整えてくれてお

りますが、なかなか全部の学童で実施しているというわけにもおそらく行っていないと思います。

そこに、関連しますと見込み量ですとか確保方策、これはもう本当に十分にやったださっていらっしゃると思います。ただ先ほどのお話にあったようなけがや事故であったり、補助金であったり、こういった部分が整ってこない、なかなか支援員等の確保も、難しいのではないかと考えております。

私はもう萩原学童クラブで20年以上勤めていて、条件が重なってご縁があって続けられておりまして、保護者の方の協力もあり、この萩原小学校の保護者の方は協力体制が厚いので、私はすごくそういうものに支えられて続けられているなというふうに思っております。

なかなか難しいところではあると思いますけれども、先ほど保育士を中途募集しても、応募がないという話もありましたが、もしかしたらそのお給料であったり補償であったりということも、少なからず関連してくるのではないかなと感じております。

ぜひ、なかなか難しいとは思いますが、公設、民設ともに、学童クラブ、保護者、子ども、それから支援員等が安心して過ごせる状況が整うと、茂原市の子どもが増えて、より良い豊かなまちづくりに繋がるのではないかなと考えておりますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

(議長)

はい。ありがとうございます。

御質問というより、学童クラブに従事されていて、そのキャリアの中から、先ほどの御質問に関連してお話いただいたところでございます。

事務局どうですか、待遇面、とかそういうものは、この中間検討の中で、何か検討はできますか。

(事務局)

はい、今おっしゃられたように、運営する側も、それから利用する側も安心してというのが第一だと思います。そのために、今後何ができるのかというのを十分協議した中で進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(議長)

貴重な実態として御意見を委員さんからいただいておりますので、もちろん議事録に残るんでしょうけれども、その意を酌んで、よりよい学童クラブを運営できるような、仕組みを検討する必要があるというふうに思った次第でございます。

ありがとうございます。他に何かございますか。よろしいですか。

それでは質問やご意見も出尽くしたようでございますので、以上をもちまして、議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。本日につきましては本当に皆様のご協力ありがとうございました。

(事務局)

本日の議事録を後日郵送にて送付させていただきます。加筆修正等がございましたら連絡をいただき、修正後茂原市ウェブサイトにて公表したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

今後の審議会でございますが、第3回目は12月20日(火)に開催を予定しております。